



3年生実習（窯業班）校外学習に行ってきました！

4/22（火）、24（木）にデザイン科3年生「実習（窯業※ようぎょう班）」の校外学習が行われました。壺屋焼物博物館では、やちむんの歴史や現代に残る技術について詳しく学び、博物館横の「のぼり

窯」を見学しました。育陶園では、職人の技術を間近で見学し手仕事の素晴らしさに触れ、やちむんの魅力を再確認することができました。また、12月に行われる卒業作品展の参考にするために、壺

屋やちむん通りの店舗を見学し多くの発見や学びを得ることができました。

※窯業とは・・・陶磁器、瓦、ガラス、セメントなどのセラミックス製品を製造する産業全般を指します。



壺屋焼物博物館の見学



のぼり窯の見学



1年生実習着

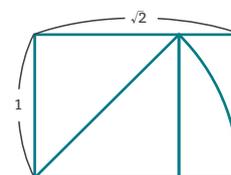
1年生は、新しい実習服（ボロシャツもあり）を着用し、デザイン科の専門授業（実習、工業技術基礎）に臨んでいます。「実習服を着用する意味」や「実習服の正しい着方」「整理、整頓、清掃、清潔の重要性」などの説明も真剣な表情で聴いていました。これからの3年間、初心を忘れず、様々なことに積極的に挑戦し、浦添工業での学校生活を充実させて下さい。



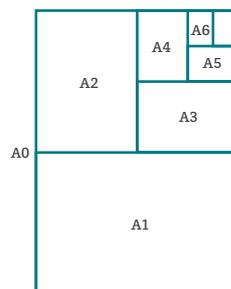
工業技術基礎の様子

豆知識・・・白銀比について

白銀比（はくぎんひ）という言葉聞いたことがありますか？白銀比は、 $1:\sqrt{2}$ の比率で、身近なものだとA判B判などの用紙サイズに使われています。また法隆寺の五重塔、東京スカイツリーなどにも使われています。白銀比は安定感やバランスの良さを感じさせる美しい比率として親しまれています。この「デザイン科NEWS」には21の白銀比が隠されています。



白銀比の比率



A判サイズ